

コンクリートの気泡・ピンホール専用充填材

気泡ファイラー

用途 コンクリートの気泡・ピンホール充填

- 施工方法
- ①気泡箇所を確認し、汚れを落として下さい。
 - ②気泡部に十分に水湿しを行って下さい。
 - ③下記の標準配合を目安に気泡ファイラーを十分に練り混ぜて下さい。
 - ④適正な施工軟度に練り混ぜた気泡ファイラーを気泡面にスポンジ・コテ等で穴に充填するようにこすりつけてください。
 - ⑤材料が、ある程度硬化したらまわりに付いた余分な材料をウエス、ナイロン不織布たわし等で軽くこすり落してください。

標準配合 (1袋当たりの配合)

種類	粉体(kg)	水(kg)	練上り量	フロー値
気泡ファイラー	20	6.2	約14ℓ	180mm

試験結果

保水性

2分後(%)	10分後(%)	60分後(%)
93.5	89.3	80.6

※JIS A 6916 付属書(規定)タイル貼付用モルタル試験方法

凝結時間

始発(時-分)	凝結(時-分)
4-04	6-09

※JIS R 5201

強度試験

材令	曲げ強さ(N/mm ²)	圧縮強さ(N/mm ²)
3日	4.02	17.32
7日	6.13	25.13
28日	6.69	34.57

※JIS R 5201

接着試験

材令	接着強さ(N/mm ²)	破断箇所
7日	1.56	モルタル凝集
28日	1.81	モルタル凝集

※試験条件:標準調合塗厚2mm 下地:JISコンクリート平板 建研式接着力試験機による

施工上の注意

- 練置き後の使用は避けて下さい。
- 5℃以下での施工は避けて下さい。また、施工時の温度によって硬化時間が異なります。
- 気泡、ピンホール充填以外には使用しないで下さい。
- 塗付け後、硬化するまでは水がかからないように養生を行って下さい。
- 皮膚に付着すると炎症を起こすおそれがありますので、使用の際は、ゴム手袋等の保護具を用いて下さい。
- 下地の清掃は丁寧にやって下さい。下地の種類によっては、接着力が得られない場合がありますので、下地の種類・状態を確認して下さい。
- 製造年月日から6ヶ月以内に使用して下さい。
- 下地の吸水が激しい場合は吸水調整材を塗布して下さい。

総販売元
株式会社 リノワース
〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-8
TEL03-3431-4877
FAX03-3437-6048
<http://www.renoworth.jp/>

販売代理店

--